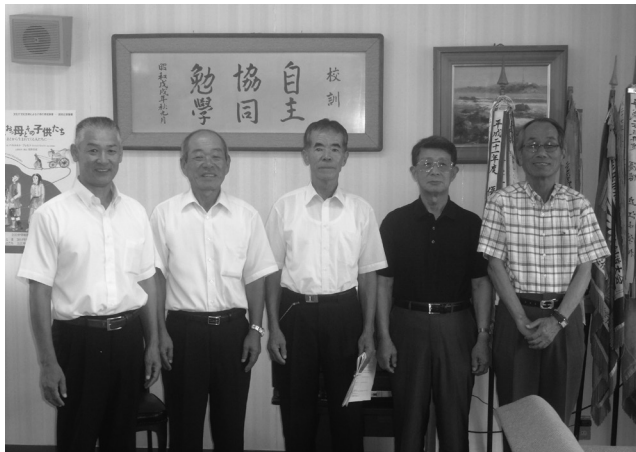


■ 座談会 1



平成27年8月11日(火)15:00～
立江中学校校長室にて

参加者

第6回卒	仁木 孝大	第10回卒	喜田 和彦
第14回卒	稲田 米昭	第16回卒	森本 利雄
校長	関貫 勉		

関貫 厳しい暑さが続く中、またお盆前でそれぞれにお忙しいところを、お時間を合わせていただきありがとうございます。さて、閉校記念事業の一つとして、閉校記念誌作成にむけ実行委員会を立ち上げて協議を行いました。そして卒業生の方々にお集まりいただいて座談会を開催し、その内容を記念誌に掲載して記録に残すということになりました。今日お集まりいただいた方々は、昭和20年代後半から昭和30年代に在学していた方々です。在学していた当時のことを振り返りながら懐かしんでいただき、思い出やエピソードについてお話しいただけたらと思います。まずは、立江中学校の校舎や体育館、運動場などの様子について記憶に残ることをお話いただけたらと思います。先日、アルバムなどを見ておきますと、現在の保育所のところに青年学校があったようですが、そこで勉強されたのでしょうか。

仁木 古い建物でペンキもはげていたが、赤いような感じの校舎でした。そこの一階で授業を受けました。

稲田 この校舎の一階に保育所があって、私は4歳か5歳くらいの時に通った記憶がかすかにあります。そして二階には兄たちが勉強している教室がありました。皆さん覚えはないですか。

森本 私は自宅から遠いので叔父の自転車の後ろに乗せてもらってここまで来ました。そして帰りは歩いて帰りました。運動会は中学校と一緒にしていて、小さいながらに運動場が広く感じたことを覚えています。ただ、立江幼稚園ができたことによって、私はそちらへ入ったので保育所へ行ったのは1年間だけであったように思います。

喜田 自分の時には新しい校舎ができていたように

思います。まだ体育館はなかったです。今の体育館の場所は畑であったように思います。それと、私は櫛淵小学校出身で、小学校の時の同級生が30名程度でしたから、立江中学校へ来て120名をこえるたくさんの人数になったのが大きな変化で、びっくりしたことを覚えています。

森本 今の喜田さんの話ですが、櫛淵小学校出身の方は人数が少なかったもので、立江中学校へ来て本当に大人数に思えて印象が強いということですね。その気持ちわかるような気がします。

仁木 私も櫛淵小学校出身ですが、私たちの時も同級生は30名程度でした。そして疎開してきた子どもたちも入っていました。確か疎開してきた子どもたちは、私たち地元の者より学習成績が良かったことを覚えています。

喜田 そのころは兄弟姉妹で中学校へ一緒に登校していました。それだけ各家庭に子どもがたくさんいたということでもありますね。

関貫 先日の閉校記念誌の作成にむけての打ち合わせをした時に、第3回卒業生の江崎さんがおっしゃっていましたが、名簿に載っている生徒の内、半分くらいは学校に来ていなかったかも知れないというお話がありました。丁度学制が変わった時で小学校を卒業すると家の手伝いがほとんどであったと聞いています。ですから中学校へは行かなくてもよいような風潮だったらしいですが、仁木先生の時は全員来ていましたか。

仁木 私の時には学校に来ていなかった子はなかったように思います。終戦直後であり生きることが精一杯でどの家庭の子供も家の手伝いをしなければ食べていけない状態でありました。